

住宅用火災警報器が寄贈されました

伊達地方消防設備協会（会長：齋藤和夫氏）・伊達地方危険物安全協会（会長：横山友助氏）から住宅用火災警報器（住警器）100個が寄贈され、10月25日に寄贈式が行われました。



【写真右から横山会長、齋藤会長、消防長】

「住警器を普及させ、住民に安全と安心を」という両協会の願いを受け、伊達地方消防組合では住民のみなさんのために利用させていただきます。

管内（伊達市、桑折町、国見町及び川俣町）の住警器設置率は70%で、全国平均の82.3%と比較すると12.3ポイント低い状況です。

伊達地方消防組合では住警器設置率向上のため、訪問による住宅防火指導、住警器の取付支援、共同購入の推進等の取組みを行っております。

詳しくは最寄りの消防署までお問い合わせください。



キャラクター「とりカエル」